

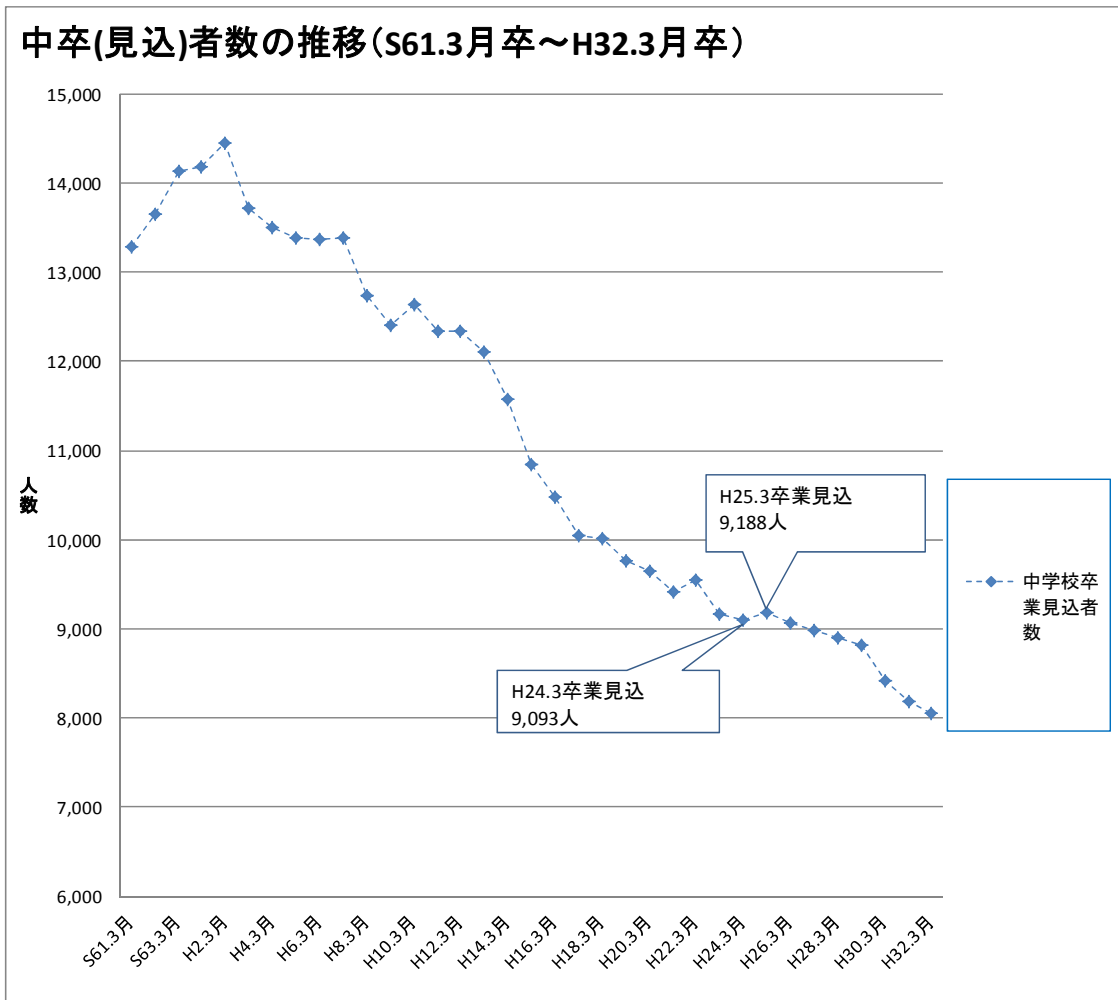
資料3-2 中学卒業(見込)者数の減少

(1) 今後の生徒減の見込について

本県の中学校卒業生数は、下のグラフに示すように、平成2年3月の14,458人をピークとして、その後減少傾向を続けている。

今後は、平成29年度中学校卒業生(平成30年3月卒)から数年間にわたり、連続して中卒者数が大きく減少し、平成23年度の募集定員と比べると大きく下回る見込みである。

募集定員が減少する中で現在の学校数を維持すれば、小規模校が増加し、学校の活力の維持が困難になる可能性がある。



学区別中学校卒業見込者数の今後の推移

卒業(見込) 年月 (現学年)	東 部		中 部		北 部		西 部		県合計	
	生徒数 (百分率)	前年差 (累積計)	生徒数 (百分率)	前年差 (累積計)	生徒数 (百分率)	前年差 (累積計)	生徒数 (百分率)	前年差 (累積計)	生徒数 (百分率)	前年差 (累積計)
23年3月 (実績)	1,832 (100)		3,410 (100)		1,412 (100)		2,514 (100)		9,168 (100)	
24年3月 (中3)	1,760 (96.1)	-72 (-72)	3,372 (98.9)	-38 (-38)	1,381 (97.8)	-31 (-31)	2,580 (102.6)	66 (66)	9,093 (99.2)	-75 (-75)
25年3月 (中2)	1,778 (97.1)	18 (-54)	3,318 (97.3)	-54 (-92)	1,515 (107.3)	134 (103)	2,577 (102.5)	-3 (63)	9,188 (100.2)	95 (20)
26年3月 (中1)	1,783 (97.3)	5 (-49)	3,240 (95)	-78 (-170)	1,561 (110.6)	46 (149)	2,480 (98.6)	-97 (-34)	9,064 (98.9)	-124 (-104)
27年3月 (小6)	1,852 (101.1)	69 (20)	3,274 (96)	34 (-136)	1,448 (102.5)	-113 (36)	2,407 (95.7)	-73 (-107)	8,981 (98)	-83 (-187)
28年3月 (小5)	1,775 (96.9)	-77 (-57)	3,236 (94.9)	-38 (-174)	1,548 (109.6)	100 (136)	2,342 (93.2)	-65 (-172)	8,901 (97.1)	-80 (-267)
29年3月 (小4)	1,854 (101.2)	79 (22)	3,096 (90.8)	-140 (-314)	1,483 (105)	-65 (71)	2,387 (94.9)	45 (-127)	8,820 (96.2)	-81 (-348)
30年3月 (小3)	1,760 (96.1)	-94 (-72)	3,046 (89.3)	-50 (-364)	1,387 (98.2)	-96 (-25)	2,231 (88.7)	-156 (-283)	8,424 (91.9)	-396 (-744)
31年3月 (小2)	1,730 (94.4)	-30 (-102)	2,909 (85.3)	-137 (-501)	1,382 (97.9)	-5 (-30)	2,160 (85.9)	-71 (-354)	8,181 (89.2)	-243 (-987)
32年3月 (小1)	1,704 (93)	-26 (-128)	2,885 (84.6)	-24 (-525)	1,384 (98)	2 (-28)	2,086 (83)	-74 (-428)	8,059 (87.9)	-122 (-1,109)

※ 中卒見込者は、H24.3月卒～H26.3月卒までは、平成23年5月1日現在の国公立私立中学校在籍者数、H27.3月卒～H32.3月卒は、平成23年5月1日現在の在籍者数にH22年度、H23年度の流出入率の平均を用いて勘案した見込数である。

(2) 今後の学校数及び規模の見込について

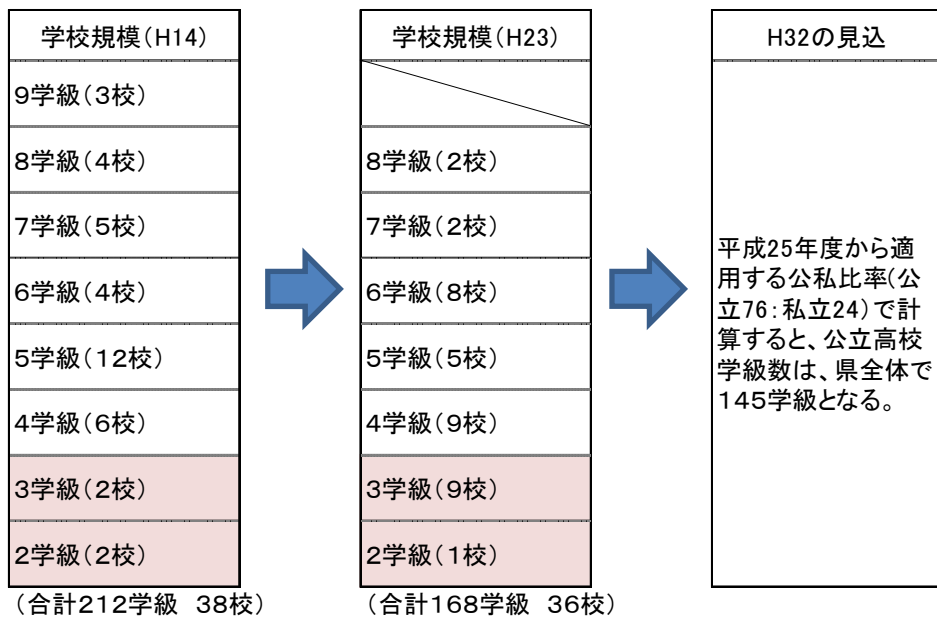
今後の生徒減少を勘案すれば、県立高校の活力を維持し、学校の活性化を図るためには、現在の学校数を維持したまま学級減で対応することは、極めて困難な状況にあると思われる。

学校の活性化を図る観点から、次期再編計画の策定に当たっては、学校数及び望ましい規模については、十分な検討が必要である。

【現在の進学率や40人学級を仮定して算定した募集定員推定】

	平成23年 3月卒	平成24年 3月卒	平成25年 3月卒	平成26年 3月卒	平成27年 3月卒	平成28年 3月卒	平成29年 3月卒	平成30年 3月卒	平成31年 3月卒	平成32年 3月卒
中卒 見込者数	9,168	9,093	9,188	9,064	8,981	8,901	8,820	8,424	8,181	8,059
募集定員 見込	6,720	6,680	6,600	6,520	6,440	6,400	6,320	6,040	5,880	5,800
(前年差)		(-40)	(-80)	(-80)	(-80)	(-40)	(-80)	(-280)	(-160)	(-80)
(累積計)		(-40)	(-120)	(-200)	(-280)	(-320)	(-400)	(-680)	(-840)	(-920)
相当 学級数	168	167	165	163	161	160	158	151	147	145
(前年差)		(-1)	(-2)	(-2)	(-2)	(-1)	(-2)	(-7)	(-4)	(-2)
(累積計)		(-1)	(-3)	(-5)	(-7)	(-8)	(-10)	(-17)	(-21)	(-23)
平均学級 数	4.7	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.4	4.2	4.1	4.0

(注) 平均学級数はすべて学級減で対応した場合の数値である。



(3) 今後の学科のあり方について

生徒や保護者の意識や社会のニーズの変化に伴い、各学科のあり方も変わっていることが報告されている。

第一次計画策定時と比べて、卒業後の進路など状況が大きく変化している学科もあることから、次期再編計画の策定に当たっては、様々な意見を取り入れ、総合的に検討していく必要がある。